

自然冷媒 CO₂ヒートポンプ式電気給湯機

形名 CS-KHP405M (タンク容量：400L)

CS-KHP505M (タンク容量：500L)

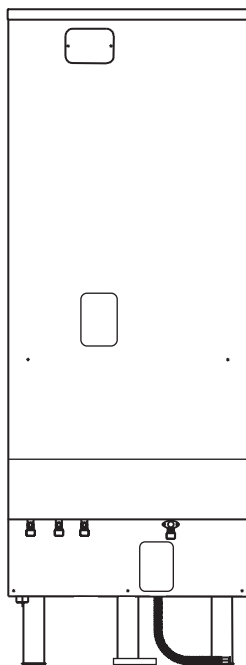
(形名はヒートポンプユニットと貯湯タンクユニットのセット形名です。)

この給湯機は、通電制御型なので申請によって料金割引が適用されます。ご不明な場合は、据付工事店（販売店）または最寄りの電力会社へご相談ください。

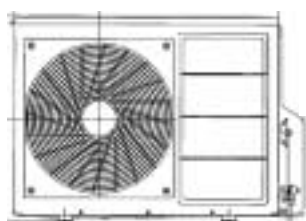
台所リモコン
(K-02K)



貯湯タンクユニット



ヒートポンプユニット



- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
- 保証書は必ず記載事項を確かめて、据付工事店（販売店）からお受け取りください。
- お客様ご自身では据え付けしないでください。安全や性能の確保ができません。
- 試運転操作が必要な場合（タンク内を空にした時や長期間使用しなかった場合は、安全と不具合発生防止のため、必ず据付工事店にご相談ください。
- この給湯機を設置後に、他に転売や譲渡されるときは、必ず次の所有者となる方に、この取扱説明書・据付工事説明書などをお渡しください。

もくじ

安全上のご注意

ページ

安全のために	1~3
ご使用にあたってのお願い	4

ご使用前の準備

各部のなまえ	5~8
電力契約モードについて	9

操作方法

日時を合わせる	10
数日間お湯を使用しないとき（るす予約）	11
沸上モードを選ぶ	12
たくさんお湯を使う（沸き増し）	13
沸き増し時間帯を設定する	14
湯張終了のお知らせ有無と湯量の設定をする	15~16
お風呂に湯張りをする	16
メッセージ音量を設定する	17
メッセージ音声の有無を設定する	18
画面の濃淡を設定する	19
メイン画面を変更する	20
給湯温度を変更する	21
温調モードを変更する	21~22
タンク内の湯温・残湯量・使用量を表示する	22
キッチンタイマーを使う	23
エラーのリセットをする	24
メーカーメンテナンスについて	25
凍結防止	25
長期間お湯を使用しないとき	26
運転再開（開始）の準備～動作確認	27~28
お手入れと日常点検	29

困った時

停電したとき	30
断水したとき	30
点検のおすすめ（有料）	30
故障かな？と思ったら	31
エラー表示と処置について	32~33

保証と修理

保証とアフターサービスについて	34
-----------------	----

製品の仕様

仕様	35
----	----



安全のために必ずお守りください

- ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みになり、正しくお使いください。
- お読みになった後は、据付工事説明書とともにお使いになる方がいつでも見られる所に保管してください。据付工事説明書も必ず据付工事店（販売店）から受け取ってください。

■誤った取扱いをした場合に生じる危険とその程度を、次の区分で説明します。

■本文中に使われる図記号の意味は次のとおりです。

(本体の表示)

 警告	誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があります。
 注意	誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつきます。

	禁止
	分解禁止
	接触禁止

	アース線 接続
	指示に したがう

	感電 注意
	高温 注意

	発火 注意
---	----------

警告

給湯時は湯水混合栓に
手を触れない



やけどをすることがあります。

使いはじめはやけどに
注意する



特に朝の使いはじめは、
空気の混ざった熱湯が
飛び散る場合があります。

排水時はお湯に
手を触れない



やけどをすることが
あります。

逃し弁点検時は内部の配管に
手を触れない



やけどをすることが
あります。

シャワー使用時や給湯時は、湯温を指先等で
確認する



湯温を確認しないと、やけどをすることがあります。

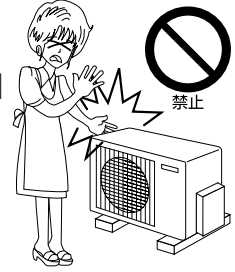
警告

ヒートポンプ配管に
手を触れない



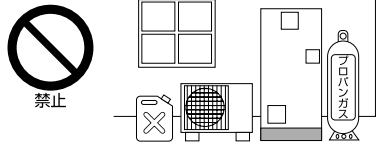
やけどをすることがあります。

ヒートポンプユニットの
蒸発器のフィンに触ったり、
蒸発器のフィンや空気吹出口
に手や棒を入れない



けがをすることがあります。

近くにガス類や
引火物を置かない



発火・火災になることがあります。

異常(こげ臭いなど)時は、漏電遮断器
の電源レバーを下げ、電源を「切」
にして、お買い上げの販売店または販
売会社(添付のアフターサービス連絡
先一覧表参照)へ連絡する



異常のまま使用すると故障や感電、
火災の原因になります。

前面カバーを開けない



開けると、
感電することがあります。

改造をしない

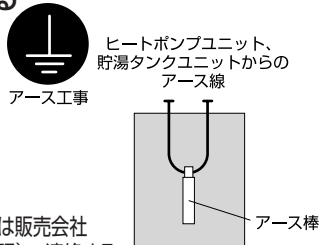
(修理技術者以外の人は)
分解・修理をしない



発火したり、異常動作して
けがをすることがあります。

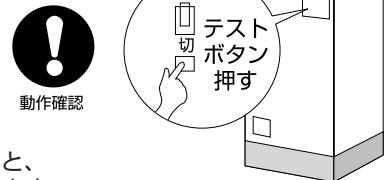
アース工事を確認する

工事に不備があると、
故障や漏電のときに
感電することがあります。



アースの取付けは、据付工事店または販売会社
(アフターサービス連絡先一覧表参照)へ連絡する。

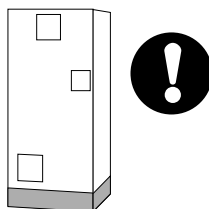
漏電遮断器の動作を
確認する



故障のまま使用すると、
感電することがあります。

注意

漏電遮断器の電源レバーを
「切」にするときは、機器と
配管内の水を確実に抜く



配管が凍結し、水漏れすることがあります。

機器に乗ったり、物を乗せたり、
配管に力を加えたりしない



事故・やけどの原因になります。

安全のために必ずお守りください (つづき)

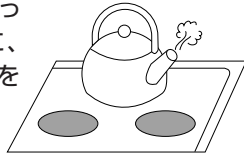
⚠ 注意

そのまま飲用しない



長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度ヤカンなどで沸騰させてからにしてください。

- 必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水を使用してください。
- 熱いお湯が出てくるまでの水(配管にたまっている水)は、雑用水としてお使いください。
- 固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せず直ちに、据付工事店(販売店)へ点検を依頼してください。



機器を満水にしてから電源を入れる



満水確認

機器に水がない状態で電源を入れると、故障の原因になります。

逃し弁の点検をする



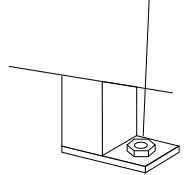
点検

点検しないとタンクや配管が破損したり、逃し弁から水漏れしたりすることがあります。また、水漏れにより電気代、水道代が高くなったり、家屋などへの不具合が発生することがあります。

貯湯タンクユニットの脚(3ヶ所)がアンカーボルトで固定されているか確認する



確認

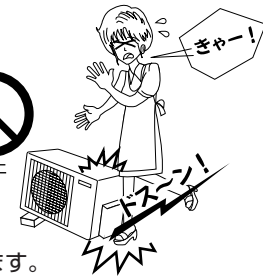


固定されていないと、地震のとき、機器が倒れてけがをすることがあります。

ヒートポンプユニットの架台が傷んだ状態で使用しない



禁止

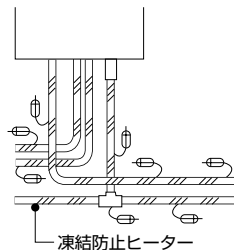


ヒートポンプユニットが落下、転倒し、けがをすることがあります。

凍結防止対策の確認をする



確認

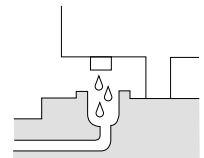


凍結するとタンクや配管が破裂し、やけどや水漏れをすることがあります。

防水処理・排水処理されているか据付工事店へ確認する



確認



水漏れが起きた場合、大きな被害につながるおそれがあります。

必ず排水処理をする

タンクの熱湯を直接排水しない



禁止

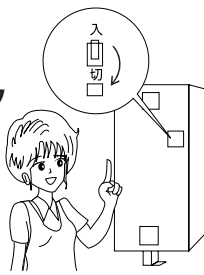
やけどをすることがあります。また、排水管などを破損することがありますのでタンク内を水にしてから排水してください。



1ヶ月以上使用しないときは、漏電遮断器の電源レバーを下げて電源を「切」にし、タンクの排水をする



電源確認



排水しないと水質が変化することがあります。

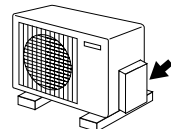
タンク内を空にした時は、必ず試運転を行う



エア抜きが完全に行われていないと不具合(エラー)が発生することがあります。

試運転の実施は、据付工事店にご依頼ください

操作カバー・操作窓・配管カバーは閉じる



開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

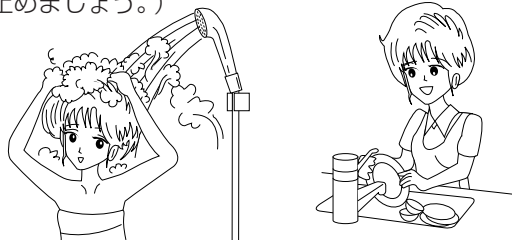
ご使用にあたってのお願い

使用にあたっては、以下のことをお守りください。

お湯を上手に使う

1日に使用できるお湯の量は限りがあります。

- シャワーは止めながら（髪を洗っているときは止めましょう。）
- 洗いものするときも止めながら

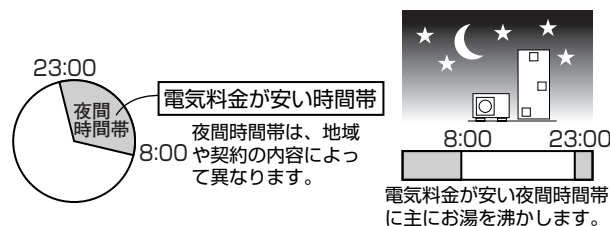


流しっぱなしで使用せず、こまめに止めましょう。

夜間時間帯のご使用について

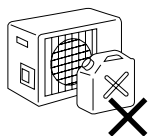
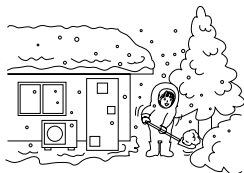
この給湯機は主に、夜間時間帯にお湯を沸かしますので、この時間帯にお湯を使うと、昼間に沸増しを行い電気代が高くなる場合があります。

（「深夜のみ」でご使用のときは、満タンまでお湯が沸かない場合があります。）



機器周辺部の点検

- 積雪時は機器の周囲を除雪してください。（誤動作や故障の原因）
- ヒートポンプユニットの周囲に通風の妨げとなるものが置かれている場合は、取り除いてください。（性能低下や故障の原因）



機器の設置状況などを確認する

以下の場所に設置されている場合は、事故や故障などの原因となります。

- 最低気温が -10°C 以下となる場所
- 屋内（ヒートポンプユニットのみ）
- 水平でない場所、不安定な場所、排水のしにくい場所
- 階段・避難口などの付近で避難の支障となる場所
- 塩害地
- 冠水する場所

ヒートポンプユニットは、作動中に運転音がします。運転音や振動が気になる場所（隣家の迷惑になる場所）に設置されている場合は、据付工事店（販売店）へご連絡ください。

リモコンの時刻を確認する

リモコンの時刻が進んだり遅れたりした場合は、台所リモコンで時刻を合わせ直してください。

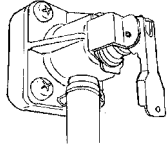


時刻がずれていると、タンク内を沸き上げるとき、ずれた分の時間は電気料金の高い昼間電力を使用するため、電気料金は割高になります。

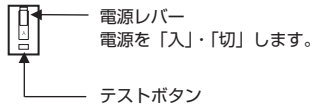
各部のなまえ (ヒートポンプユニット、貯湯タンクユニット)

貯湯タンクユニット

逃し弁
 沸上げ時の膨張水を排出し、タンク内の圧力上昇を逃す装置、タンク内を一定圧力 (190kPa) 以下にします。
 通電時間中に膨脹水が排出されます。
 年に2~3回点検を行ってください。(P29)



漏電遮断器
 万一漏電した場合、感電を防止します。
 年に2~3回点検を行ってください。(P29)



減圧弁
 タンクへの給水圧力 (170kPa) を保ちます。

電動三方弁
 HP回路を加熱用と循環用に切り替えます。

電源用端子台

給湯口

ヒートポンプB (戻り)

ヒートポンプA (行き)

排水口

給湯用混合弁
 お湯と水を混ぜて、リモコンの設定温度に調整します。

保温材

貯湯タンク

残湯センサー

制御基板
 通電時間やお湯の沸き上げを制御します。

リレー
 マイコンからの指示により、通電の「入」「切」をします。

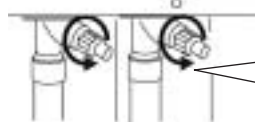
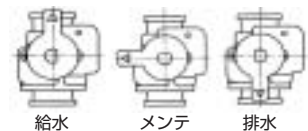
メンテナンスバルブ
 減圧弁点検時にタンクからの逆流を防止します。

HP用端子台

リモコン用端子台

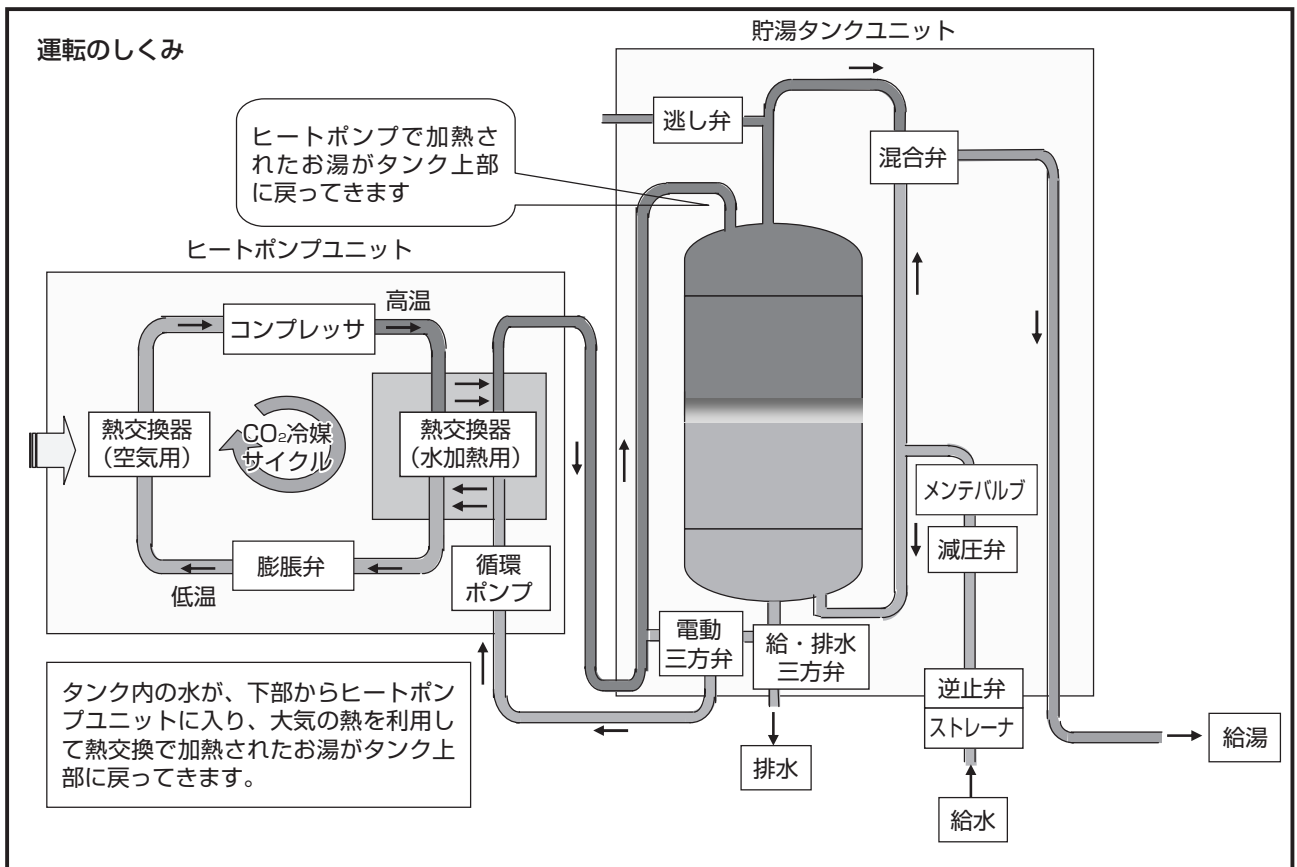
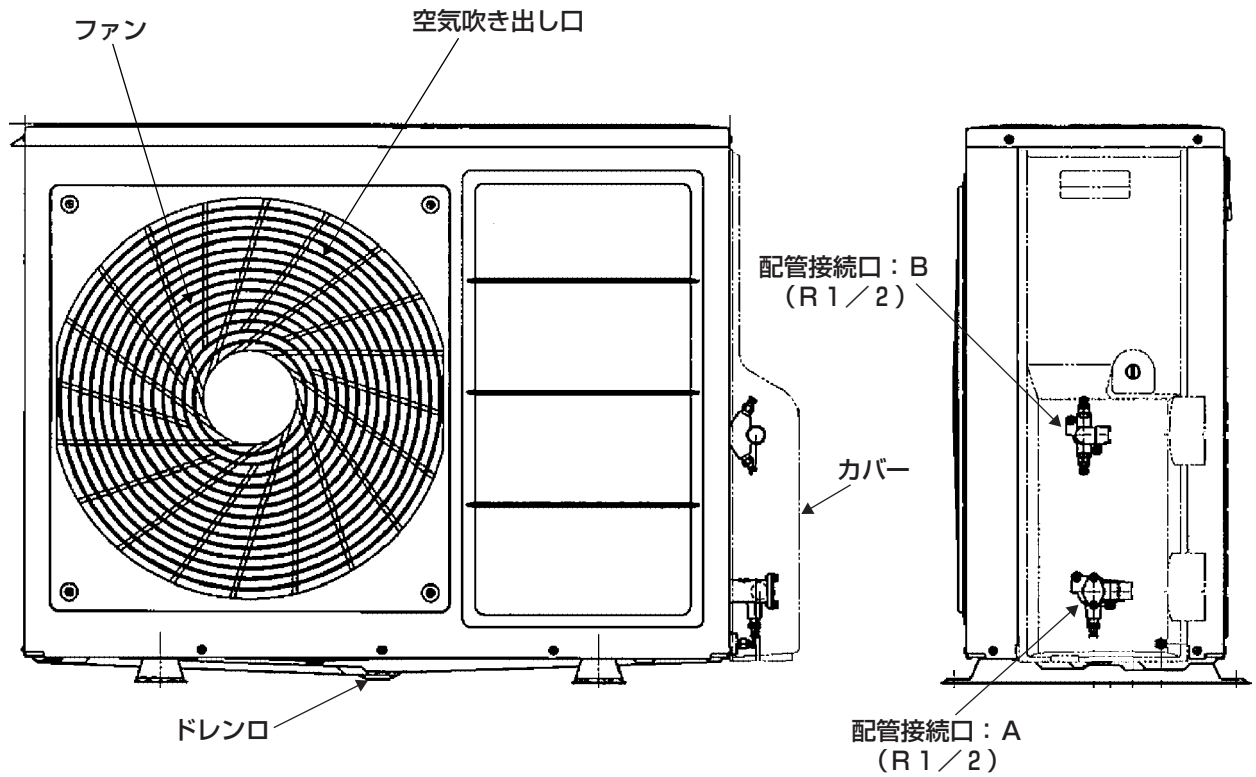
給水口

給排水栓
 タンク内への水の給水または、湯水を排水するときに使用します。



貯湯タンクの水抜き方法
 水抜き栓を左に回す。

ヒートポンプユニット



各部のなまえ (台所リモコン)

台所リモコン (K-02K)



メニューボタン
以下のメニュー画面を表示します。
・現在時刻
・るす予約
・沸上モード
・自動沸増時間帯
・湯量設定
・湯量お知らせ
・メッセージ音量
・メッセージ
・画面の濃淡
・メイン画面
・温調モード

確定ボタン
メニュー項目や、△/▽ボタンで設定/変更した内容を確定します。

キッチンタイマーボタン
リモコンをキッチンタイマーとして使用する。

満タンボタン
タンク内の湯の満タン沸き増しの設定/解除ができます。

満タンランプ (緑色)
満タン沸き増し設定中…点灯
沸き増し中でない …消灯

▼/▲ボタン
給湯温度の変更およびメニュー項目の選択、各モードの選択、湯量・音量・時刻等の数値を変更できます。

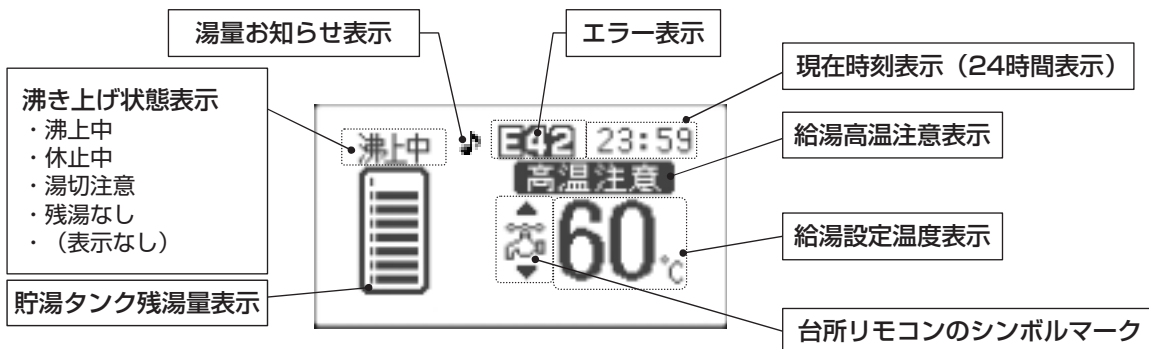
表示ボタン
以下の画面を切り替えて表示します。

- ・給湯温度画面
- ↓
- ・湯量お知らせ情報画面
- ↓
- ・タンク情報画面
- ↓
- ・使用量情報画面
- ↓
- ・現在時刻画面

表示部のバックライトは、操作終了から3分で消灯します。

表示部 (説明のため、画面は全ての表示が点灯した状態となっています。)

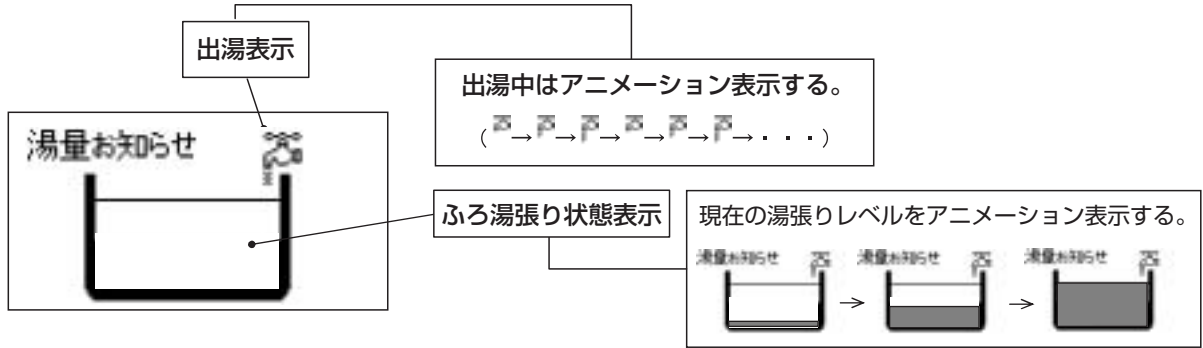
①給湯温度画面



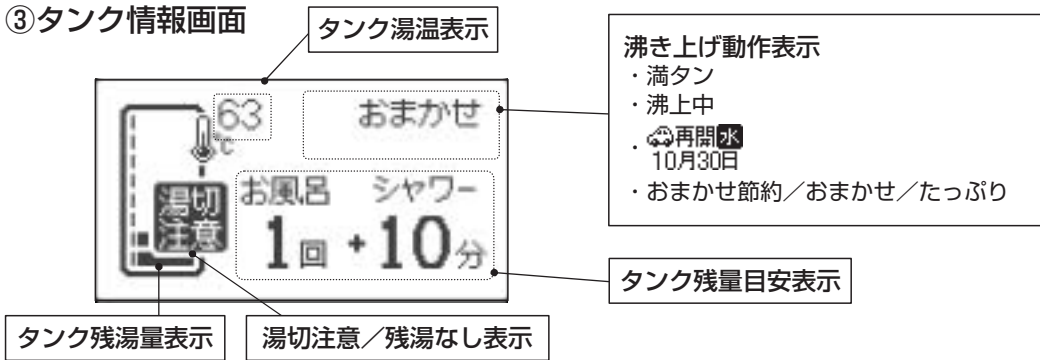
残湯量表示											0
400Lタイプ	350以上 400未満	300以上 350未満	250以上 300未満	200以上 250未満	150以上 200未満	100以上 150未満	50以上 100未満	0以上 50未満	0	0	0
500Lタイプ	400以上 500未満	300以上 400未満	250以上 300未満	200以上 250未満	150以上 200未満	100以上 150未満	50以上 100未満	0以上 50未満	0	0	0

※45℃以上のお湯の量を表示します。(単位：L)
※残湯量は、温度上昇中47℃以上で点灯、温度下降中44℃以下で消灯します。

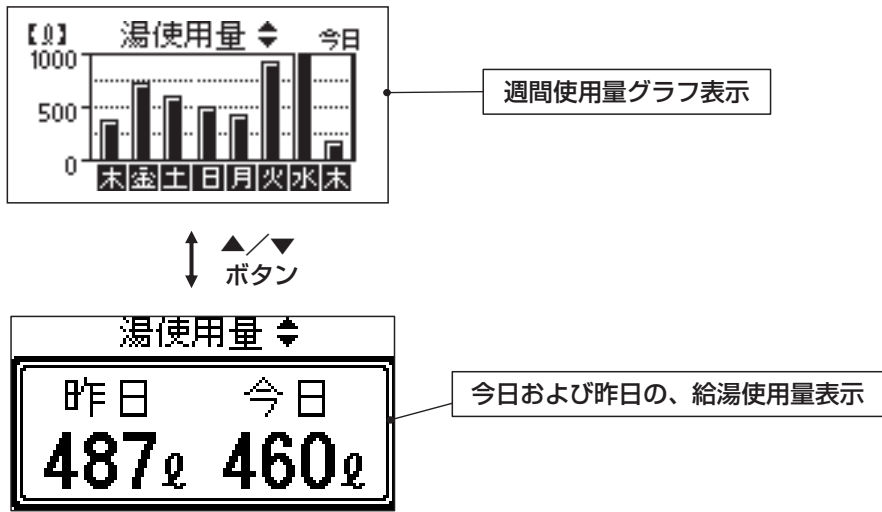
②湯量お知らせ情報画面



③タンク情報画面



④使用量情報画面



⑤現在時刻画面



●表示は1分後に、自動的にメイン画面に戻ります。バックライトは、その後2分で消灯します。

電力契約モードについて

中国電力管内の場合、出荷時に「タイプ2」設定してありますので変更の必要はありません。

- この給湯機は**時間帯別**専用です。必ず**時間帯別**でご契約をお願いします。(深夜電力契約使用不可)
- 電気の供給を受ける電力会社と契約規則により、夜間時間帯や安価な時間帯が異なりますので、必ず、ご使用の契約にあう電力契約モードを選んでください。(場合によっては電気料金が高くなることがあります)

契約電力会社と契約種別は次のとおりです。(出荷時は、**タイプ2 (中国電力ファミリータイム)** 設定になっています。)

電力契約モードの内容 (参考)

タイプ	契約種別による時間パターン	備考
タイプ1 夜間 開始23時 夜間 終了 8時	 0時 8時 23時	中国電力(株) 時間帯別電灯 (エコノミーナイト)
タイプ2 夜間 開始23時 夜間 終了 8時	 0時 8時 10時 17時 23時	中国電力(株) 季節時間帯別電灯 (ファミリータイムプラン)
タイプ3 夜間 開始23時 夜間 終了 7時	 0時 7時 23時	四国電力(株) 関西電力(株) 中部電力(株) 東京電力(株) 北陸電力(株) 東北電力(株) 北海道電力(株) 沖縄電力(株)
タイプ4 夜間 開始23時 夜間 終了 7時	 0時 7時 10時 17時 23時	東京電力(株) 関西電力(株) 沖縄電力(株)
タイプ5 夜間 開始23時 夜間 終了 7時	 0時 7時 9時 17時 23時	中部電力(株)
タイプ6 夜間 開始22時 夜間 終了 8時	 0時 8時 22時	九州電力(株) 東京電力(株) 北陸電力(株) 東北電力(株)
タイプ7 夜間 開始22時 夜間 終了 8時	 0時 8時 10時 17時 22時	九州電力(株) 北陸電力(株)
タイプ8 夜間 開始22時 夜間 終了 6時	 0時 6時 22時	北海道電力(株)
タイプ9 夜間 開始 0時 夜間 終了 8時	 0時 8時	北海道電力(株)

- ・契約している電力制度の内容については、各電力会社にお問い合わせください。
- ・契約モードの変更が必要な場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

日時を合わせる

- 工場出荷時に日時を合わせていますが、時間の経過とともに時刻がずれる場合があります。時刻が合っていないと、電気料金が割高になる場合があります。まず現在時刻を確認し、違っていれば合わせてください。（時刻は24時間表示となっています。）

- 1 **メニュー** を押し「現在時刻」を選択する。
- 2 **確定** を押す。

音声ガイダンス
「現在時刻を設定します。分を設定します。三角ボタンで変更してください。よろしければ確定ボタンを押してください。」

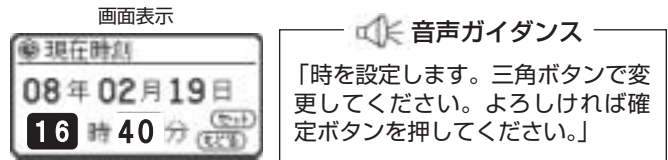


- 3 **▲** / **▼** を押して分を合わせ、**確定** を押す。



- 「分」以外に修正箇所がある場合→手順4の操作へ、「分」以外に修正箇所がない場合→手順6の操作へ

- 4 **▲** / **▼** を押して、修正したい箇所に移動させ（反転表示）**確定** を押す。



- 5 **▲** / **▼** を押して値を修正し**確定** を押す。



- 6 **▲** / **▼** を押して、反転表示を **セット** に移動させる。

- 7 **確定** を押す。（メニュー画面に戻る。）

音声ガイダンス
「現在時刻を設定しました。」



注意：時刻を変更された後、必ず確定ボタンを押してください。

- 8 **表示** を押して、メイン画面に戻す。

音声ガイダンス
「メニューを終了しました。」

お願い

- 時計の時刻は温度変化などにより若干変動します。時刻が進んだ場合や遅れたときは、時刻を合わせてください。また1ヶ月に一度は時刻が合っているか、確認してください。

- 長時間の停電があった場合や、長時間電源（漏電遮断器、電源ブレーカーなど）を「切」にしていた場合は、必ず時刻が合っているか、確認してください。

お知らせ

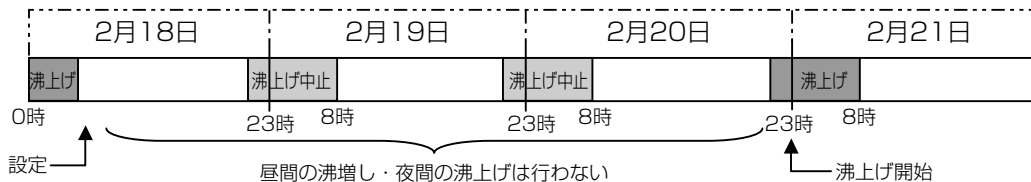
- 時刻は24時間表示です。昼の12時の場合は「12:00」、夜の12時の場合は「0:00」を表示します。

数日間お湯を使用しないとき（るす予約）

●旅行などで数日間お湯を使用しないときに、沸き上げを停止することができます。

初期設定は「解除」となっています。設定できる範囲は2～14泊です。

例) 2月18日に出発し、2月21日に帰宅する3泊4日の旅行の場合



お客様は3泊となりますが、給湯機の動作は2泊分を停止することになります。

(2月21日で設定しますが、帰宅前夜に沸かす必要があるため、2月18日の朝から2月20日の23時の間通電を停止します)
(沸き上げは、ご使用になる前日の夜間に沸かす必要があるため、機能上1泊の設定はありません。)

※予定より早く帰宅された場合は、「メニュー」→「るす予約」→「確定」で、沸増し設定をしてください。

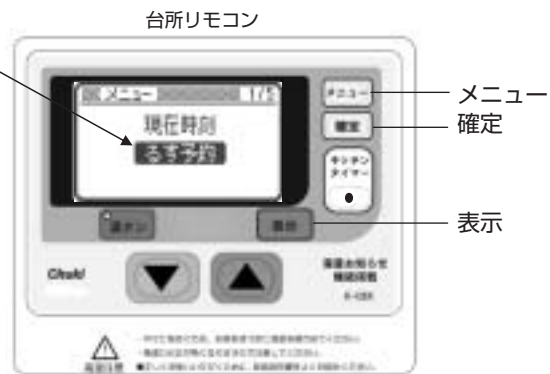
1 **メニュー** を押し、**▼** で「るす予約」を選択する。

2 **確定** を押す。

音声ガイダンス

「るす予約を設定します。三角ボタンで帰宅日を設定して、確定ボタンを押してください。」

本日より2日後の月日が表示されます。
日の上下に▲▼が表示され、▲/▼ボタンで日が変更可能な状態になります。

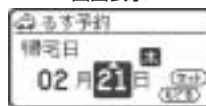


3 **▲** / **▼** を押して帰宅日

を設定し、**確定** を押す。

日の上下の▲▼が消え、値が確定されます。

画面表示



音声ガイダンス

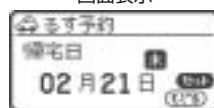
「設定が済みましたら、セットを選んで確定ボタンを押してください。中止する場合は、戻るを選んで確定ボタンを押してください。」

※注 この時点ではまだ設定は完了していません。

4 **▼** を押す。

「セット」に反転表示が移動します。

画面表示



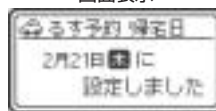
5 **確定** を押す。(メニュー画面に戻る)

音声ガイダンス

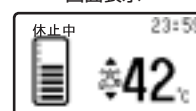
「るす予約を設定しました」

メイン画面に戻ります。

画面表示



画面表示



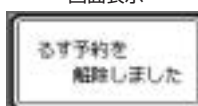
メイン画面

●留守予約を解除する場合は、再度1～2の操作を繰り返してください。

音声ガイダンス

「るす予約を解除しました」

画面表示



4秒表示した後、画面に戻る。

お知らせ

- るす予約中は満タン沸き増し設定はできません。満タン沸き増し設定する場合は必ずるす予約を解除して設定してください。
- るす予約中は沸き上げおよび沸き増しを行いません。

沸上モードを選ぶ

- 出荷時の設定は、省エネモードとなる「おまかせ節約」となっています。

使い始めは、このモードでのご使用をお奨めします。

ただし、お湯の使用量が多いと予想される場合は、「たっぷり」または「おまかせ」で使用してください。

- 沸上モードと特徴は下記の表をご参照ください。

1 **メニュー** を2回押し、「沸上げモード」を選択する。

2 **確定** を押す。

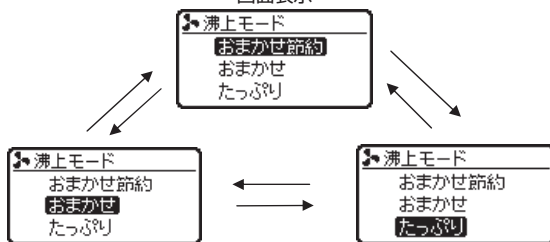
音声ガイダンス

「沸き上げモードを設定します。三角ボタンで沸き上げモードを選んで確定ボタンを押してください。」



3 **▲** / **▼** で沸上モードを選ぶ。

画面表示



音声ガイダンス

「よろしければ確定ボタンを押してください」

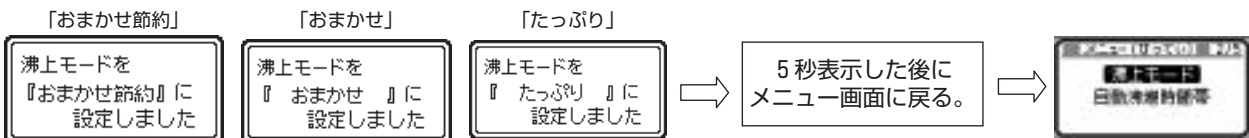
4 **確定** を押す。

音声ガイダンス

「沸上げモードを設定しました。」

湯切れにご注意!

「おまかせ節約」は無駄な湯沸しを控え、最小限の量（湯温）で沸かすため、毎日お湯をたくさんお使いになられる場合は「たっぷり」、毎日の使用量が一定でないご家庭では、「おまかせ」でご使用ください。お湯の使用量が少ないご家庭では、学習機能で最低湯温の65℃となることがありますので、ご注意願います。



5 **表示** を押して、メイン画面に戻す。

音声ガイダンス

「メニューを終了しました。」

沸上モード

沸上モード	沸き上げ温度	夜間沸上げ温度／沸上げ湯量	解 説
おまかせ節約 (省エネ)	約65℃ ～90℃	過去のお湯の使用データを基に、できるだけムダな沸き上げを抑えて、必要な熱量が確保できる湯量で沸き上げます。	●日々の使用量がほぼ一定で、電気代の節約をしたいお客様に適しています。ただし、湯量不足となる場合がありますのでご注意ください。(節約運転による省エネモードです)
おまかせ	約70℃ ～90℃	過去のお湯の使用データを基に、多少余裕をもって、必要な熱量が確保できる湯量で沸き上げます。	●一般的な使用方法のお客様向けで、使用量に多少のバラツキがあっても大丈夫です。ただし、急な来客等で使用量が増える場合は、湯量不足となる場合があります。
たっぷり (満タン)	約90℃	季節や使用量に関係なく、ほぼ最高温度で満タンまで沸き上げます。	●毎日お湯をたっぷりでご使用になられるお客様に適しています。また、「おまかせ」でご使用中、来客等がある場合は、前日に設定しておくこと、当日たくさんのお湯が使用できます。

※1. 「たっぷり」に設定しても、夏季で外気温が高い場合は、沸き上げ湯温が70℃程度になる場合があります。

冬季で特に寒い日は75～80℃沸き上げとなる場合があります。

※2. 全てのモードで湯量が不足すると、自動で沸き増しを行います。

自動沸増時間帯が「制限なし」に設定されているときは、電気料金が割高な昼間時間帯に沸き増しを行う場合があります。

お願い 「おまかせ節約」でご使用中の場合、来客などでお湯が多く必要になることがわかっている場合は、前日の23時までに「たっぷり」の設定に変更されることをお奨めします。(23時以降に変更された場合は、翌々日からの変更になります)

更に、満タン沸増し設定(P13参照)を行うことをお奨めします。

たくさんお湯を使う（沸増し）

●全ての沸上モードで、湯量が不足すると自動で沸き増しを行います。

急な来客等で自動沸き増しでもお湯が足りないと予測される場合、および自動沸き増しをしないモードで運転中の場合、リモコンから満タン沸き増しを行うことができます。

初期設定は「満タン沸き増しなし」となっています。

1 **満タン** を押す。 ⇨ **満タン**

(満タンランプ (緑色) が点灯します。)

音声ガイダンス

「満タン沸き増しを設定しました。満タン沸き増しは、翌朝まで継続します。」

画面表示

満タン沸き増しを
設定しました



満タン

●満タン沸き増しを解除する場合は、もう一度

満タン を押す。(ランプが消灯)

音声ガイダンス

「満タン沸き増しを解除しました。」

画面表示

満タン沸き増しを
解除しました

ご注意

「おまかせ節約」の設定で使用中に、昼間時間帯に「たっぷり」へ変更して「満タン沸き増し」しても、沸き増し湯温は、「おまかせ節約」時のままで変更されません。夜間沸上げ時まで設定は変わりません。

沸増し設定 : どの沸上げモードでも、満タン沸き増しを設定できます。

なお、夜間時間帯終了時にリセットされます。

設定	おまかせ (70~90℃)	たっぷり (90℃)	おまかせ節約 (65~90℃)
自動沸き増し	残湯が150L以下で開始し 50L沸き増しで終了		残湯50L以下で開始し 50L沸き増しで終了
満タン沸き増し (設定直後)	設定後、即沸き増しを開始し 満タンで終了		
満タン沸き増し (設定後2回目以降)	残湯が(タンク容量-100)L以下で開始し 50L沸き増しで終了		

注：残湯とは湯温が45℃以上を示します。

湯切れに注意

●タンクのお湯が少なくなった場合

音声ガイダンス

「タンクのお湯が少なくなりました。」

残湯表示が少なくなり「湯切れ注意」の表示が出る。

画面表示



●タンクのお湯が無くなった場合

音声ガイダンス

「タンクのお湯がなくなりました。」

残湯表示が消え「残湯なし」の表示が出る。

画面表示



お知らせ

●満タン沸き増し設定中に留守予約を設定すると、満タン沸き増し設定は解除されます。

また、留守予約設定中(休止中)は満タン沸き増し設定ができません。

沸増しを設定する場合は、必ず留守予約を解除してください。

沸き増し時間帯を設定する

- 自動で沸き増しをする時間帯を設定することができます。

工場出荷時の設定は「制限なし」となっています。

- 1 **メニュー** を2回押し、**▼** で「自動沸き増し時間帯」を選択する。

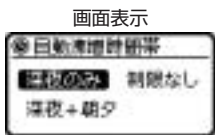
- 2 **確定** を押す。

音声ガイダンス

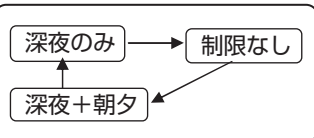
「自動沸き増し時間帯を設定します。三角ボタンで自動沸き増し時間帯を選んで確定ボタンを押してください。」



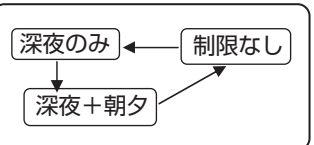
- 3 **▲** / **▼** を押して沸き増し時間帯を選択する。



▲ を押した場合

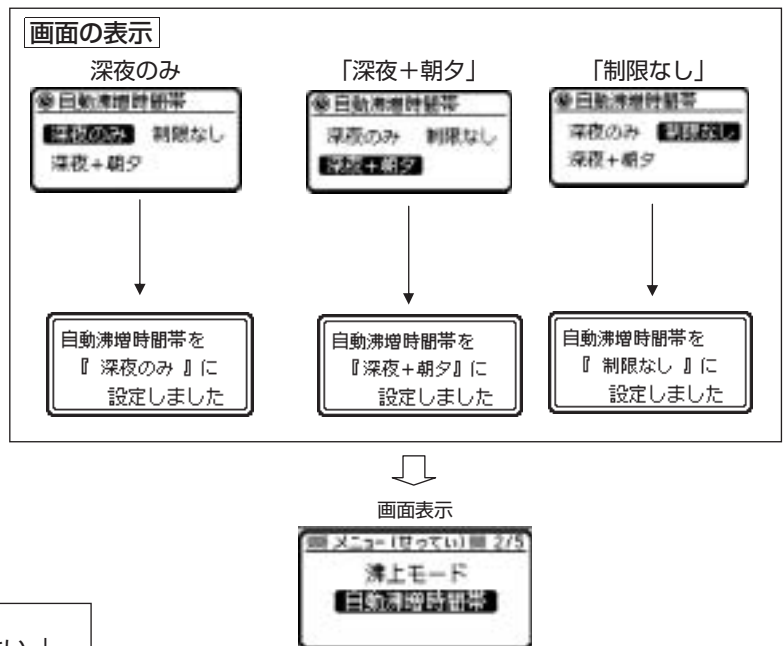


▼ を押した場合



音声ガイダンス

「よろしければ確定ボタンを押してください。」



- 操作を中止する場合は **表示** を押してください。

音声ガイダンス

設定を中止しました。

- 4 **確定** を押す。(メニュー画面に戻る)

音声ガイダンス

「自動沸き増し時間帯を設定しました。」

- 5 **表示** を押して、メイン画面に戻す。

音声ガイダンス

「メニューを終了しました。」

湯張終了のお知らせ有無と湯量の設定をする

- お風呂への湯はり完了時に、チャイムでのお知らせを設定することができます。
工場出荷時の設定は、お知らせ「あり」で湯量は「180L」となっています。

1 **メニュー** を3回押し、**▼** で「湯量お知らせ」を選択する。

2 **確定** を押す。

音声ガイダンス

「三角ボタンで有り無しを選んで確定ボタンを押してください。」



3 **▲** / **▼** を押して「あり」「なし」を選択する。

画面表示



音声ガイダンス

「よろしければ確定ボタンを押してください。」

- 操作を中止する場合は **表示** を押してください。

音声ガイダンス

設定を中止しました。

4 **確定** を押す。(メニュー画面に戻る。)

音声ガイダンス

「あり(または「なし」)に設定しました。」

5 続けて湯量の設定をする場合は、**▼** を押し「湯量設定」を選択する。

6 **確定** を押す。

音声ガイダンス

「三角ボタンで設定してください。よろしければ確定ボタンを押してください。」



7 **▲** / **▼** を押して湯量を選択する。

▲ を押すと湯量が20L多くなります。(最大400L)

▼ を押すと湯量が20L少なくなります。(最小100L)

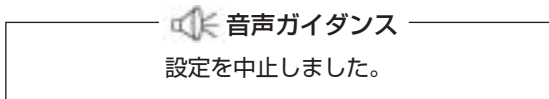
音声ガイダンス

「よろしければ確定ボタンを押してください。」

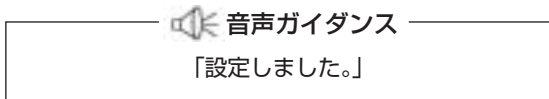
画面表示



●操作を中止する場合は **表示** を押ししてください。

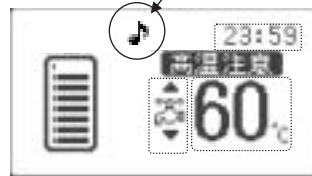


8 **確定** を押す。(メニュー画面に戻る)



9 **表示** を押して、メイン画面に戻す。

湯量「あり」に設定した場合は マーク表示



お風呂に湯張りをする

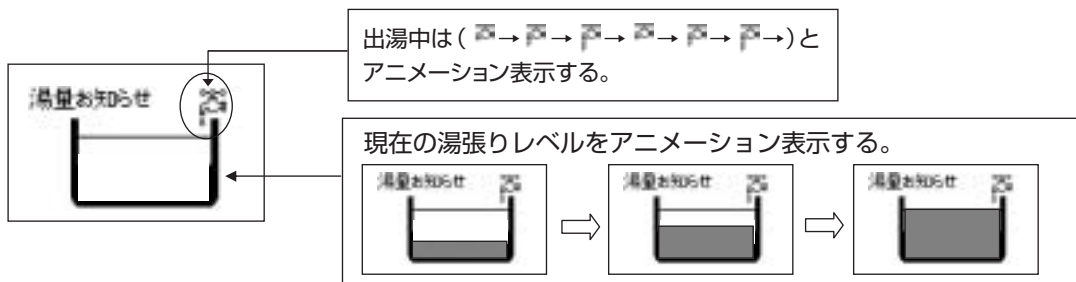
終了時のお知らせ「有り」に設定すると、お風呂に湯張りをする場合、湯はり完了時に、チャイムでのお知らせをします。なお、この機能は毎日の目安としてお使いください。

1 **表示** を押し、「湯量お知らせ」情報画面にする。

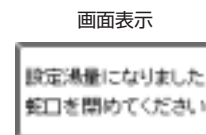
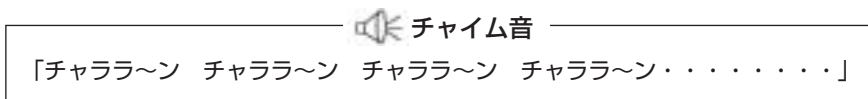
2 蛇口を開く。

- ・出湯状態をアニメーション表示
- ・現在の出湯状態をアニメーション表示

注意：本機能は、季節の違いや他への出湯などにより誤差が生じることがあり正確なものではありません。おおよその目安としてお使いください。



- ・お風呂への湯張り量が、設定された量になると、チャイムでお知らせします。



3 蛇口を閉める。

- ・出湯を停止したときに、チャイム音が停止し、給湯温度画面に戻る。

お知らせ

- お風呂への湯張り中に他の蛇口から出湯した場合、実際よりも少ない湯量でチャイムが鳴る事があります。
- 湯張り画面を設定しなくても、チャイム音は出ます。

メッセージ音量を設定する

- リモコンから発声される音声の音量を変更することができます。
工場出荷時の設定は「2」となっています。

1 **メニュー** を4回押し、**▼** で「メッセージ音量」を選択する。

2 **確定** を押す。

音声ガイダンス

「音量を設定します。三角ボタンで音量を変更してください。よろしければ確定ボタンを押してください。」



3 **▲** / **▼** を押して音量を変更する。

▲ ボタンを押すと音が大きくなります。



▼ ボタンを押すと音が小さくなり、音量0にすると消音になります。



●操作を中止する場合は **表示** を押してください。

音声ガイダンス

設定を中止しました。

4 **確定** を押す。(メニュー画面に戻る。)

音声ガイダンス
「音量を設定しました。」

音量を『3』に
設定しました

画面表示



※音量設定・音声ガイダンス内容は下表のとおりです。

音量設定	音声ガイダンス内容	表示
0	音声を切ります。	▲音量0
1	音量は1です。	◆音量1
2	音量は2です。	◆音量2
3	音量は3です。	◆音量3

5 **表示** を押して、メイン画面に戻す。

音声ガイダンス

「メニューを終了しました。」

メッセージ音声の有無を設定する

- リモコンから発声される音声のうち、音声メッセージの「あり」／「なし」を設定することができます。工場出荷時の設定は「あり」となっています。

1 **メニュー** を4回押し、**▼** で「メッセージ」を選択する。

2 **確定** を押す。

音声ガイダンス

「音声の有り無しを設定します。三角ボタンで有り無しを選んで、確定ボタンを押してください。」



3 **▲** / **▼** を押して

「あり」または「なし」を選択する。

画面表示



音声ガイダンス

「よろしければ確定ボタンを押してください。」

- 操作を中止する場合は **表示** を押してください。

音声ガイダンス

「設定を中止しました。」

4 **確定** を押す。(メニュー画面に戻る)

- 音声ありに設定した場合

画面表示

音声を『あり』に
設定しました

音声ガイダンス

「音声を「あり」にしました。」

- 音声なしに設定した場合

画面表示

音声を『なし』に
設定しました

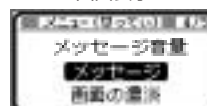
注：ガイダンスはありません

5 **表示** を押して、メイン画面に戻る。

音声ガイダンス

「メニューを終了しました。」

画面表示



お知らせ

- ボタンを操作した時などの効果音は、消すことはできません。

画面の濃淡を設定する

●画面の濃さを12段階で設定できます。ご希望の濃度に設定してください。

なお、工場出荷時は中央の設定位置となっています。

1 **メニュー** を4回押し、**▼** で「画面の濃淡」を選択する。

2 **確定** を押す。

音声ガイダンス

「画面の濃淡を設定します。三角ボタンで設定してください。よろしければ確定ボタンを押してください。」



3 **▲** / **▼** を押して最適な画面の濃さを選択する。

画面表示



-----> **▲** 画面が濃くなります

▼ <----- 画面が薄くなります

音声ガイダンス

「よろしければ確定ボタンを押してください。」

●操作を中止する場合は **表示** を押してください。

音声ガイダンス

設定を中止しました。

4 **確定** を押す。(メニュー画面に戻る。)

画面表示

画面の濃淡を
設定しました

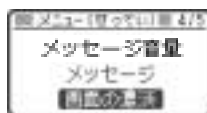
音声ガイダンス

「画面の濃淡を設定しました。」

5 **表示** を押して、メイン画面に戻す。

音声ガイダンス

「メニューを終了しました。」



メイン画面を変更する

●給湯温度画面と現在時刻画面のどちらかをメイン画面として設定できます。

工場出荷時の設定は「給湯温度画面」がメイン画面となっています。

1 **メニュー** を5回押し、「メイン画面」を選択する。

音声ガイダンス

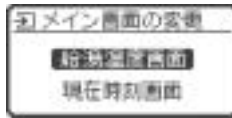
「メイン画面を設定します。三角ボタンで選んで、確定ボタンを押してください。」



2 **確定** を押す。

3 **▲** / **▼** を押してしたい画面を選択する。

画面表示



音声ガイダンス

「よろしければ確定ボタンを押してください。」

●操作を中止する場合は **表示** を押してください。

音声ガイダンス

「設定を中止しました。」

4 **確定** を押す。

音声ガイダンス

「メイン画面を設定しました。」

給湯温度画面



現在時刻画面



5 **表示** を押して、メイン画面に戻す。

音声ガイダンス

「メニューを終了しました。」

お知らせ

●サブ画面表示中も、自動でメイン画面に切り替わります。

給湯温度を変更する

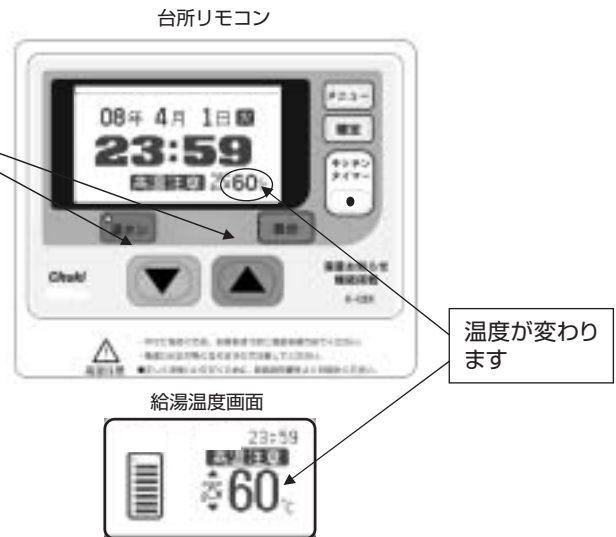
- この給湯機には、給湯用に温調弁が内蔵されていますので、出湯温度を変える事ができます。
- 出荷時の設定では、最高60℃までの出湯に制限されていますが、メニュー設定により、80℃出湯も可能となっています。

1 ▲ / ▼ を押し、給湯温度の変更を行います。

高温（80℃）を望まれる時は、温調モードの設定変更が必要です。（下記参照）

※60℃以上の設定をしたとき、チャイム音とガイダンスが流れ、「高温注意」を表示します。

音声ガイダンス
「チャララ〜ン」
「給湯温度を変更しました。あつのお湯が出ます。ご注意ください。」



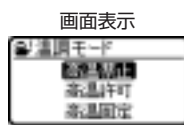
温調モードを変更する

1 [メニュー] を5回押し、▼ で「温調モード」を選択する。

音声ガイダンス
「三角ボタンで選んで、確定ボタンを押してください。」

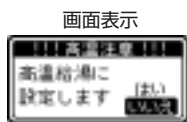
2 [確定] を押す。

3 ▲ / ▼ を押し、状態を選択する。



4 [確定] を押す。

(1) 「高温固定」を選択した場合

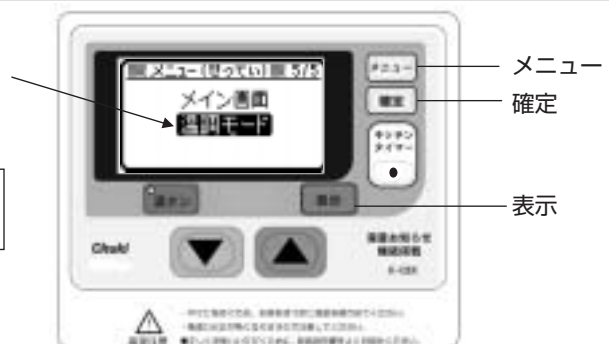


▲ / ▼ で選んで [確定] を押す。

「はい」を選択した場合は次ページの(2)へ

音声ガイダンス
「設定しました。」

「いいえ」を選択した場合は 3 へ戻る。



「高温禁止」 水～60℃（60℃以上のお湯は出ません）
 「高温許可」 水～80℃（ただし、タンク内のお湯が80℃以下の場合はタンク内温度）
 「高温固定」 80℃固定（ただし、タンク内のお湯が80℃以下の場合はタンク内温度）

注意

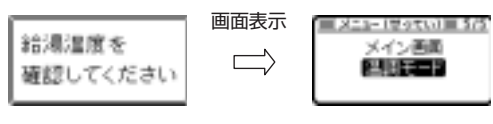
- ・出荷時の設定は「高温禁止」です。「高温許可」「高温固定」に設定変更した場合、熱いお湯が出ますので火傷の恐れがあります。
- ・「高温許可」「高温固定」設定の変更は自己責任において実施願います。
- ・「高温固定」から「高温許可」「高温禁止」に変更すると、給湯温度は前回値（高温固定前）に関係なく“40℃”となります。

注意

「高温許可」では給湯温度の変更はできませんが、「高温固定」に設定した場合、変更はできません。

(2) 「はい」 を選択した場合

音声ガイダンス
「給湯温度を変更しました。熱いお湯が出ます。ご注意ください」



5 **表示** を押して、メイン画面に戻す。

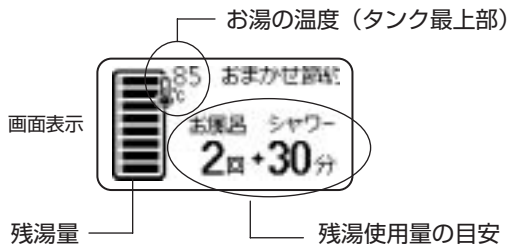
タンク内の湯温・残湯量・使用量を表示する

- 貯湯タンクユニットのタンク内最上部温度を表示します。
- タンク内の残湯量表示と、残湯によるお風呂の回数とシャワーの使用時間を表示します。
- 過去1週間のお湯の使用量や、本日と前日の使用量を表示します。

1 **表示** を1回押し、バックライト点灯後に

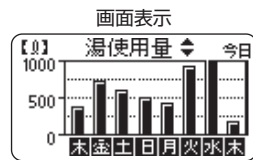
表示 を2回押し。

例) タンク最上部が85℃で、殆ど使用量が無い場合。



上記画面表示中、もう一度 **表示** を押すと、過去一週間のお湯の使用量 (40℃換算) をグラフで表示します。

1週間のお湯の使用料



● **▲** / **▼** を押すと、当日と前日の使用量が40℃の換算値で表示されます。

昨日および今日の給湯使用量が表示されます。



●タンク内のお湯が残り少ない時の表示



●表示は1分後に、自動的にメイン画面に戻ります。バックライトは、その後2分で消灯します。

お知らせ

- タンク内の温度は、放熱によって時間の経過とともに少しずつ低下しますので、沸上げ温度よりも低く表示されることがあります。
- 以前のお湯の使用量や、お風呂やシャワーの回数は概算による目安です。
- バックライトが点灯している時でないとお操作ができません。

キッチンタイマーを使う

●キッチンタイマーボタンを押すと、タイマーとして使用できます。

1  を押す

 音声ガイダンス

「よろしければ確定ボタンを押してください。」

画面表示





時間は、前回値で表示します。



キッチンタイマーボタン

2 時間を変更する場合  /  を押して時間を変更する。

 +10秒される。(最大60分)


 -10秒される。(最小10秒)
(連続押しで、高速変化)


3  を押す。

画面表示



時間が1秒単位でカウントダウンされる

 を押すと、キッチンタイマーを中止しメイン画面に戻ります。

4 タイムアップで  「ピピッ、ピピッ……」(30秒連続)

画面表示



 を押すと、アラームが停止しメイン画面に戻ります。

押さなくても、30秒後に自動で停止します。

お知らせ

- キッチンタイマー設定中は、キッチンタイマー専用となり、その他のボタンを押した場合は、拒否音を鳴らします。
- 湯量お知らせアラーム中にキッチンタイマーのタイムアップとなった場合、キッチンタイマーのタイムアップアラームに切り替わります。
- キッチンタイマーのタイムアップアラーム中に本体から湯量お知らせが送られてきた場合は、湯量お知らせアラームに切り替わります。
- メッセージ音量が“0”の場合、アラームは鳴りません。

エラーのリセットをする

●給湯機に発生しているエラーをリセットすることができます。

- 1 **メニュー** と **確定** を3秒間同時押しで
ユーザーメンテナンスメニューを開く。

音声ガイダンス

「メンテナンスモードを開始します。」



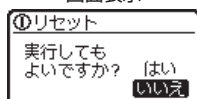
- 2 **▼** で「リセット」を選択する。

- 3 **確定** を押す。

音声ガイダンス

「リセットします。よろしければ、三角ボタンではい
を選んで確定ボタンを押してください。中止する場
合は、そのまま確定ボタンを押してください。」

画面表示



- 4 **▲** / **▼** を押して、「はい」 / 「いいえ」
を選択する。

画面表示



- 5 **確定** を押す。(メニュー画面に戻る)

- 6 **表示** を押して、メイン画面に戻す。

音声ガイダンス

「メンテナンスモードを終了しました。」

「はい」の場合

一度メニュー画面に戻り、全てのリモコンがリセット（画面消去）
され、メイン画面が立ち上がります。

「いいえ」の場合

「中止しました」とガイダンスがあり、メニュー画面に戻ります。

メーカーメンテナンスについて

リモコンの設定の中に「メーカーメンテナンス」がありますが、これは本機器を安全に使用するための設定や、不具合発生時の情報入手等の大切な情報が入っています。お客様は絶対に設定を行わないでください。

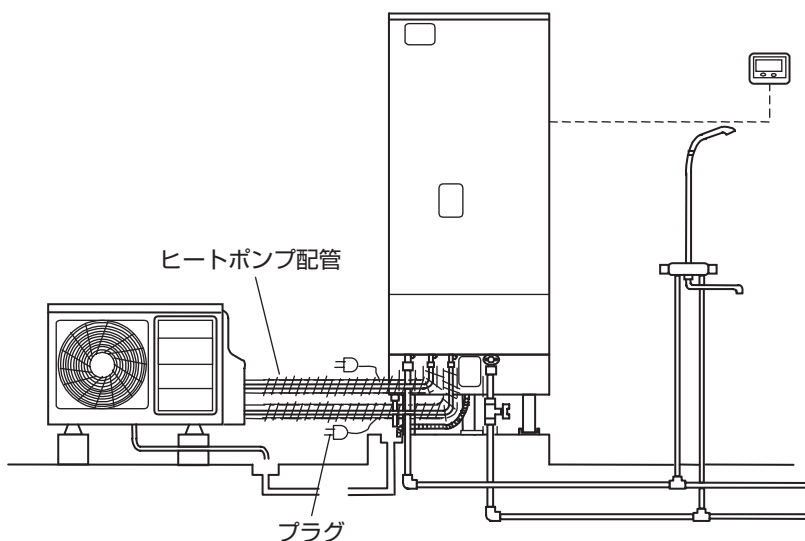
なお、何かの操作中に間違っ「メーカーメンテナンス」が設定された場合は、「メニューを閉じる」を選択するか、**表示** を3秒間押して、メイン画面に戻してください。

凍結防止

寒い季節になったら、凍結防止装置（凍結防止ヒーターのプラグを入れる。凍結予防運転をする。）が行われているか確認してください。配管に保温工事が施工してあっても、周囲温度が0℃以下になると、配管の凍結、破損によりリモコンにエラーが表示されることがあります。

凍結防止ヒーターによる保温

凍結防止ヒーターが下図のように施工されているか確認してください。寒い季節は全てのプラグをコンセントに差し込んでください。なお、凍結しない季節は必ずコンセントからプラグを抜いておいてください。



⚠ 注意

- 凍結防止対策を行う
(やけどや水漏れに注意)

長期間お湯を使用しないとき

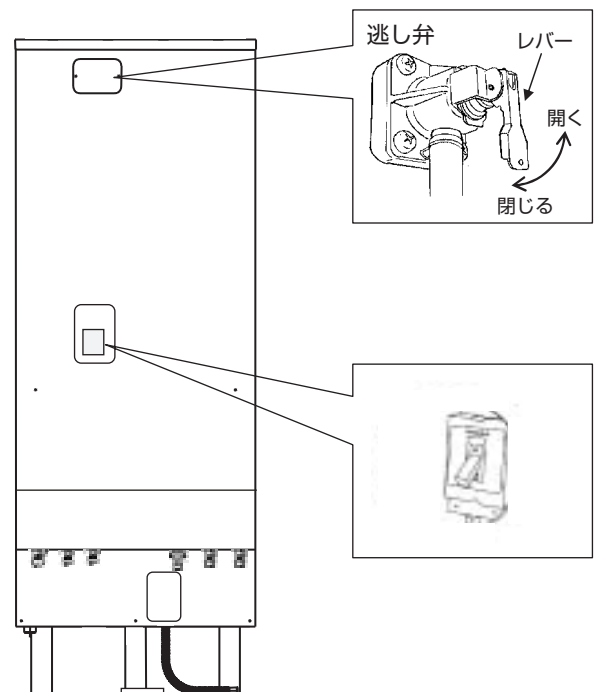
- 1ヶ月以上使用しないときは運転を停止し、貯湯タンクユニット、ヒートポンプの水を抜きます。
(タンク内の水質が変化することがあります)

排水が不完全な場合、凍結による不具合が発生する場合がありますので、排水する場合は据付工事店または販売会社にご相談ください。



- 1ヶ月以上使用しないときは、タンクの水を抜く。(水質変化の原因)
- タンクの熱湯を直接排水しない。(やけど、排水管などの破損の原因)

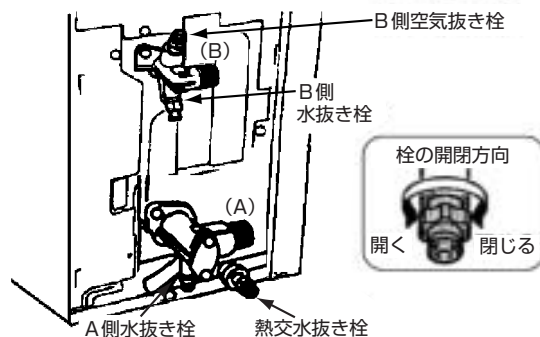
- 1** 夜間の沸き上げを停止するため、リモコンのるす予約を2日後に設定します。
(あらかじめ前日に設定しておきますとムダにお湯を沸き上げることがなくなります。)
- 2** タンク内のお湯を水にするために、湯水混合栓(蛇口)を開き、熱いお湯が出なくなるまで出湯します。
(熱いお湯が出なくなったら、湯水混合栓(蛇口)を閉じてください。)
- 3** 貯湯タンクユニットの漏電遮断器の電源レバーを「切(OFF)」にする。
- 4** 給湯機専用止水栓・給水配管用止水栓を閉じる。
(貯湯タンクユニットへの給水を止めます。)
- 5** 貯湯タンクユニットの逃し弁のレバーを開く。
- 6** 貯湯タンクユニットの排水栓を開き、タンク内の水を抜く。(排水栓は開いた状態のままにしておく。)
- 7** タンクの排水が終わったら、配管の水抜き(貯湯タンクユニット・ヒートポンプユニット)を行う。



貯湯タンク側 水抜き栓



ヒートポンプユニット側 水抜き栓



- 8** 貯湯タンクユニットの漏電遮断器の電源レバーを「入り(ON)」にし、約30秒程度経過後「切り(OFF)」にする。(貯湯タンク内の配管部の水を完全に抜くために行います。凍結により機器が損傷することがあります)

運転再開（開始）の準備～動作確認

- 使い初めや長期間不使用のため、タンク内が空になっていた場合、次の手順で運転準備と動作確認操作が必要です。下記の手順で実施願います。

実施にあたっては、据付工事店または販売会社にご相談ください。

運転開始（再使用）の準備

1) 確認事項

最初に次の内容を確認してください。

- ①貯湯タンクユニットの漏電遮断器電源レバーが「切」となっていることを確認する。(図1参照)
(「入」となっていた場合は、レバーを下げ「切」としてください。)



図1

- ②ヒートポンプユニットの水抜き栓（3ヶ所）、空気抜き栓（1ヶ所）、貯湯タンクユニットの排水栓が閉じていることを確認してください。
(水抜き栓・空気抜き栓箇所は図2参照)

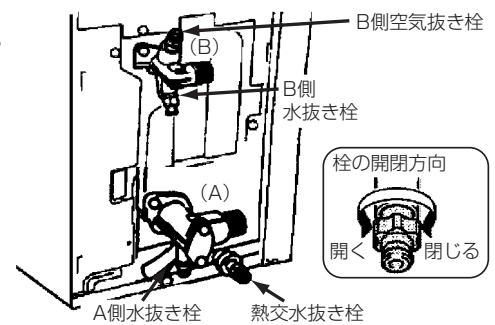


図2

- ③蛇口（台所・洗面所・浴室等）が閉じていることを確認してください。

<貯湯タンクユニット・ヒートポンプユニットを満水にする。>

- 1) 貯湯タンクユニットの逃し弁レバーを上げる。(図3参照)
給湯機専用止水栓を開ける。
(貯湯タンクユニットへ給水する。)
- 2) 貯湯タンクユニットが満水になったら、逃し弁レバーを下げる。(図3参照)
(タンクが満水になると、排水口より水が出ます。)
- 3) ヒートポンプユニットの水抜き栓を開ける。(図2参照)
 - ①A側水抜き栓を開け、水が勢いよく出たら閉じる。
 - ②熱交水抜き栓を開け、水が勢いよく出たら閉じる。
 - ③B側水抜き栓を開け、水が勢いよく出たら閉じる。
- 4) 湯水混合栓（蛇口）をお湯側全開にして、水が出ることを確認する。

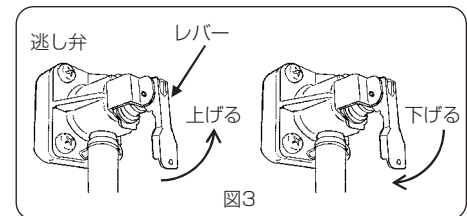


図3

⚠注意

機器（貯湯タンクユニット・HPユニット）を満水にしてから電源を入れる。
(故障の原因)

<電力契約モードを確認する>

<電源を入れる>

- 1) 200V電源ブレーカーを「入」にする。
- 2) 貯湯タンクユニットの漏電遮断器電源ブレーカーを「入」にする。(図4参照)
- 3) 台所リモコンで時刻の設定を行う。(P10参照)
- 4) 電力契約モードを確認する。(P9参照)
- 5) 動作確認（ヒートポンプユニット配管の空気を抜く）
※手順は次ページを参照してください。
※動作確認モードは自動で部品チェック・エア抜き・沸き上げ（満タン沸き上げ）を行います。

漏電遮断器



図4

動作確認 (詳細は据付工事説明書参照)

※前ページの「運転開始準備」を行った後に、「動作確認」操作を行います。

動作確認は運転前の重要な作業です。実施については、必ず据付工事店または販売会社にご相談ください。

●動作確認（電動弁確認・熱源循環ポンプ確認・各部エアー抜き作業・沸上げ確認・給湯フローセンサー確認）を行います。

①台所リモコンの **メニュー** と **確定** を数秒間同時に押す。

「メンテナンスモードを開始します」と音声ガイダンスでお知らせし、メンテナンスメニューが表示されます。

② **▼** を押して「動作確認」を選んで **確定** を押す。

「動作確認を開始します。中止する場合は、表示ボタンを押してください。よろしければ、確定ボタンを押してください。」と音声ガイダンスでお知らせします。

③ **確定** を押すと、次の動作確認を開始します。

●弁の動作確認→熱源循環ポンプ→エアー抜き→沸き上げ→給湯フローセンサー。

(**確定** を押さなくても10秒経過すると自動で動作確認を開始しますが、熱源循環ポンプと給湯フローセンサーは確定ボタンの操作が必要です。)

※詳細については据付工事説明書を参照してください。

この操作を確実に行わないと、正常に沸き上げが行われないことがあります。

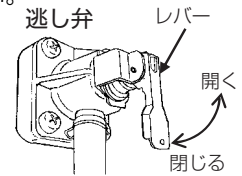
お手入れと日常点検

逃し弁の点検（年に2～3回）

⚠ 警告

- 逃し弁点検時は内部の配管に手を触れない。
やけどをすることがあります。

- 貯湯タンクユニットの逃し弁点検窓を開け、逃し弁レバーを2～3回上下に動かしてください。上げたとき、排水口から水（お湯）が出れば正常です。点検終了後は、逃し弁レバーを下げ、逃し弁点検窓を閉じてください。



⚠ 注意

- 貯湯タンクユニットの操作カバーは閉じる。
開けておくと雨水やゴミが入り、漏電や感電することがあります。

リモコンのお手入れ（日常）

- リモコンの表面が汚れたときは、水にぬらした柔らかい布をかたく絞って、軽く拭き取ってください。

お願い

- リモコン内部には電気部品が入っていますので、水をかけないようにしてください。
- 洗剤およびベンジン・シンナー等は使用しないでください。

漏電遮断器の点検（年に2～3回）

- 沸上げ、沸き増し中は行わないでください。
- 200V電源通電中に貯湯タンクユニットの漏電遮断器テストボタンを押してください。
電源レバーが「入」から「切」になれば正常です。
- 点検終了後は、電源レバーを「入」に戻してください。

タンクのお手入れ（年に2～3回）

- 沸上げ、沸き増し中は行わないでください。
- タンクのお手入れを行うときは、同時に排水管（溝）のゴミ詰まりなども点検してください。
ゴミなどで排水が流れにくい場合は、水漏れ事故防止のため、据付工事店へご連絡ください。（有償）

タンクのお手入れ手順

- ① 給湯機専用止水栓を閉じる。
- ② 逃し弁を開く。
- ③ 排水栓を約1～2分間開く。
- ④ 汚れがなくなったら排水栓を閉じる。
- ⑤ 給湯機専用止水栓を開く。
- ⑥ 排水口から勢いよく水が出てきたら、逃し弁を閉じる。

停電したとき

この給湯器はメモリ機能が付いていますので、お客様が設定された「時刻」や「沸き上げモード」などは記憶されています。ただし、時刻がずれることがありますので、このときは必ず時刻を合わせ直してください。（正しい時刻に合わせないと、電気料金が割高になる場合があります。）（P10参照）

停電したときの動作

- リモコンの設定は停電前の設定に戻ります。
- 沸き上げ途中で停電した場合、停電終了後に沸き上げを再開します。
- 停電時も停電前の設定温度で出湯可能です。ただし、停電したタイミングやタンク内湯温の変化や給水量の変化により、設定温度で出湯できない場合があります。
- 蛇口からお湯を使用中に停電になった場合は停電前の設定温度となります。

断水したとき

- 断水したときや近くで水道工事が行われるときは、予め給湯機専用止水栓を閉じてください。（閉じると給湯機からのお湯が止まります。）
閉じないでそのまま使用すると、濁った水で貯湯タンクユニット内の減圧弁（ストレーナ部）が目詰まりし、湯量が減少したり、お湯が濁る原因になります。工事が終了したら、蛇口を開き、水の汚れがなくなったのを確認してから、給湯機専用止水栓を開いて、ご使用ください。
- 断水時に湯張り操作をした場合、給水ができないためにエラーが表示されることがありますので、断水が終わるまで使用しないでください。
間違ってもエラーが表示された場合でも、断水が終わって問題が解決すればエラー表示は消えます。また、一般給湯においても、給湯栓を開けたままにしないでください。

点検のおすすめ（有料）

- 本機を安全に、長くお使いいただくためには、点検および早めの消耗部品交換が必要です。
点検についてのお問い合わせは、お買い上げの販売店または販売会社（別紙 アフターサービス連絡先一覧表を参照）へお問い合わせください。

故障かな？ と思ったら

こんな時は故障ではありません

●ヒートポンプユニットが運転/停止を繰り返す
気温が低いときは、熱交換器の除霜のためファンの運転/停止を繰り返します。

●排水口からお湯が出ている
沸き上げ運転時は、貯湯タンクユニット内の水の温度が上昇し膨張します。この膨張分が逃し弁から排水されます。

●夜間時間帯になっても、すぐに沸上げを行わない
(ヒートポンプユニットが動いていない)
給水水温が高い場合や残湯量が多い場合は、夜間時間帯になってもすぐ沸上げを行いません。夜間時間帯が終了する時刻に合わせて、沸上げを完了させます。(ピークシフト機能)

●設定した沸上げ温度まで沸上がらない
以下の状態では、設定した沸上げ温度まで沸上がらない場合があります。また、配管からの放熱や外気温度の低下が大きい場合も同様です。
①台所リモコンに「沸上中」が表示されているときにお湯を使用した場合

②沸上モードの設定を変更した場合

③外気温度が低い場合
外気温度が -5°C 以下になると、沸き上げ温度を自動的に低く調整します。(ヒートポンプユニット保護のためです。リモコンでの沸上げ温度設定に関係なく低く調整します。)

●沸上モードを「たっぷり」に設定したが、湯温が低い
夏季で外気温が高い場合、沸き上がり湯温が 70°C 程度になる場合があります。
また、冬季の特に寒い日は、 $75\sim 80^{\circ}\text{C}$ で沸き上げることがあります。
(沸き上げ時間が不足する場合は、沸き上げ温度を下げる場合があります。)

●シャワーを使用中に、急に湯温が低くなる事がある
シャワー使用中に、ふる湯張りや高温さし湯をした場合、ふる側にお湯が引っ張られて、一時的にお湯が行かなくなることがあります。

●沸き上げ中、ヒートポンプユニットから水が出る
ヒートポンプユニットが大気から熱を吸収するときに、結露した水が出てきます。

●運転停止をしてもヒートポンプユニットが動く
●運転モードを「深夜のみ」に設定していても昼間にヒートポンプユニットが動く
外気温度が低下すると、自動で凍結防止運転を行うため動きます。

●満タンボタンを押しても、沸上げを開始しない
タンク内が沸上がっている場合は、沸上げを行いません。
満タン沸増し設定をすると、タンク内のお湯が一定量以上減ったとき自動的に沸上げを行います。
(P13 沸き増し設定参照)

●ヒートポンプユニットから水蒸気が出る
冬季特に寒い日に、霜がつくのを防止するため除霜運転をする場合があります

●お湯が白くにごって見える
水中に溶け込んでいた空気が、蛇口を開けたときに細かい泡となって出てくる現象です。少し時間を置くとにごりは消えます。

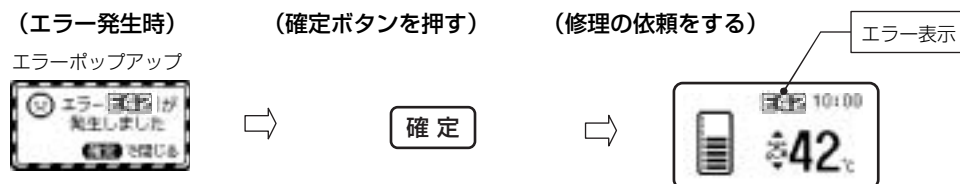
●お湯から油が出る、お湯が臭い
初めてご使用になる場合、配管工事での油の臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらく使用すると消えます。

●朝は高温のお湯があったが、夜になると極端に湯温が低くなった。
(例：朝 85°C 程度であったが夜 70°C 以下になった)
前日のお湯の使用量が少ない場合、次の日に残湯が加熱されないまま多量に残る事があります。
本給湯機は、タンク下部の水をヒートポンプユニットで加熱したものがタンク上部に戻りますが、設定温度 -20°C 以上のお湯(残湯)は運転停止するためです。

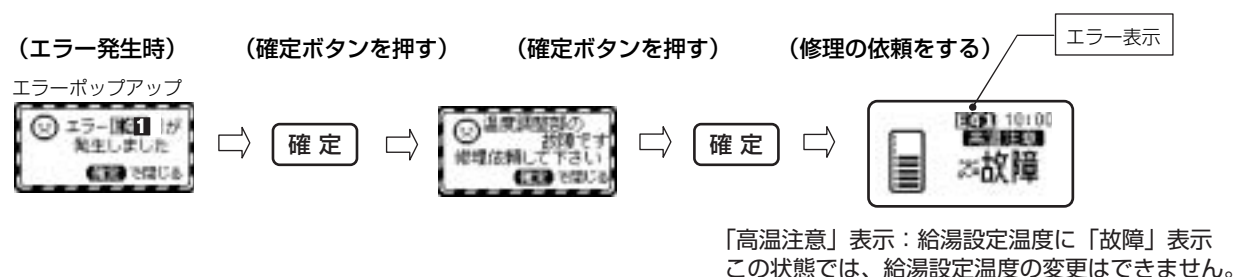
エラー表示と処置について

- エラー表示した場合、サービスマンの点検が必要です。お買い上げの販売店または販売会社（別紙アフターサービス連絡先一覧表参照）へお問い合わせください。

- エラー発生時のリモコン表示
(E41エラー以外の場合)



(E41-給湯混合弁異常が発生) 温度調整が不可となり、危険を伴うため、注意喚起する。



タンクユニット関係のエラー表示

エラーコード	原因	処置
E01～E08 (※4)	残湯センサー故障（断線・短絡）	残湯センサの一点検・交換 (※1)
E11	外気温センサー故障（断線・短絡）	外気温センサーの点検・交換 (※1)
E12～E19 (※3・※4)	残湯センサー故障（温度勾配）	各センサーの点検・交換 (※1)
E23	沸き上げ動作時、温度上昇なし	
E32	水温センサー故障（断線・短絡）	水温センサーの点検・交換 (※1)
E36	タンクーHP配管逆接続（試運転時）	配管を正規に接続する。
E41	給湯MIX弁異常	給湯MIX弁の点検・異常 (※1)
E42	給湯フローセンサー故障	給湯フローセンサーの点検・交換 (※1)
E43	給湯温度センサー故障	給湯温度センサーの点検・交換 (※1)
E81	HP沸き上げ温度過昇異常	過昇防止器の点検・交換 (※1)
E82	電動三方弁異常（循環側固着）	電動三方弁の点検・異常 (※1)
E83	電動三方弁異常（沸上側固着）	電動三方弁の点検・異常 (※1)
E84	電動三方弁異常（中間位置固着）	電動三方弁の点検・異常 (※1)
E91	制御基板故障（AD変換異常）	制御基板のリセット・点検・交換 (※1)
E92	台所リモコン通信異常（応答なし）	本体側の電源間違い、ケーブルの短絡を確認
E95	HP通信異常（応答なし） (※2)	電源ケーブル（3芯）の接続確認
E97	HPユニット・貯湯タンクユニット組み合わせ不適合 (※2)	組み合わせ機種の確認をしてください

※1 サービスマンの点検が必要な項目です。

※2 HP：ヒートポンプの略です。

※3 「E17」は400Lタイプのみで500Lタイプは表示しません。

※4 「E07」「E18」「E19」は500Lタイプのみで400Lタイプは表示しません。

エラー表示と処置について（つづき）

HPユニット関係のエラー表示

エラーコード	原因	処置
H03	冷媒圧力高圧異常	各部品の点検・交換またはHPユニット修理 (※1・※2)
H04	冷媒出口センサー異常	
H05	給水センサー異常	
H06	沸き上げセンサー異常	
H07	フロストセンサー異常	
H09	外気温センサー異常	
H11	吐出温センサー異常	
H15	ファンモータ異常	
H16	給水ポンプ異常	
H19	冷媒吐出温度異常	
H27	異種電源接続異常	
H23~H29	コンプレッサまたはHP ECU異常	
H31	圧力センサー故障	
103	高圧異常	
117	沸き上げ温度高温検出（高圧側）	
120	沸き上げ温度高温検出（高圧側）	
121	沸き上げ温度低温検出（低圧側）	

※1 サービスマンの点検が必要な項目です。

※2 HP：ヒートポンプの略です。

エラーは出ていないが、お湯が足りない事がある場合

お湯は沸いているのに、夜にお湯を使用すると足らなくなる事がある場合、前日の残り湯が多く残っていた可能性があります。

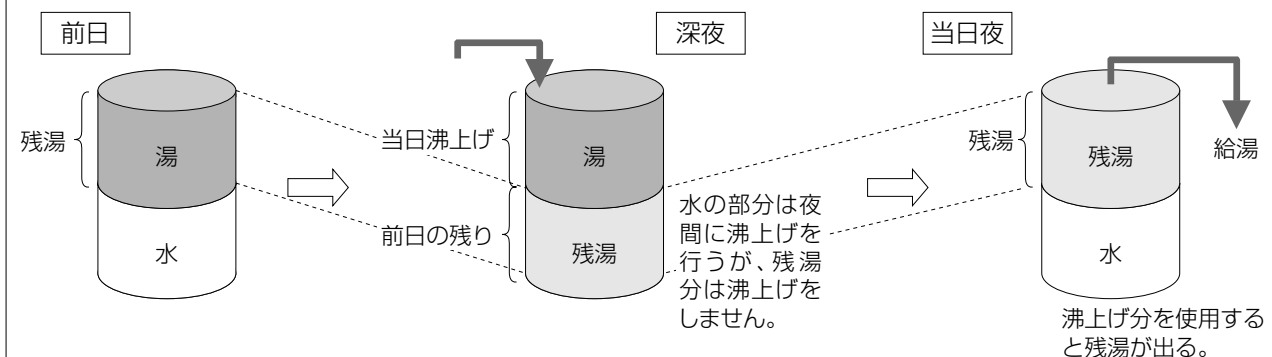
- 1日～2日家を留守にしている、殆どお湯を使用していなかった時。
- 2日に1回しかお風呂に入らない時。

解説

前日のお湯の使用量が少なかった場合、一定量使用すると急に湯温が下がる場合があります。

（例：朝は85℃であったのに夜は70℃程度になっていた）

これは、ヒートポンプの寿命等の関係から、約60℃以上の残湯の再加熱はしないようになっているため、前日の残り湯がそのまま加熱されずに残っているため、故障ではありません。



保証とアフターサービスについて

1 保証書について（別添付）

- 保証書は必ず「工事店名（販売店名）」「据付日」などをご確認の上、工事店からお受け取りください。また、内容をよくお読みのと大切に保管してください。（取扱説明書、据付工事説明書なども保証書と一緒に保管してください。）

2 保証内容について

- 保証期間は据付日から5年間です。
- 正常な使用状態で、この期間内に万一故障が生じた場合は、保証書の記載事項にもとづき「無償修理」いたします。
- ご使用になる水質が上水道基準を満たしていない場合、これが原因で発生した原因により発生した故障および損傷については無償修理できない場合があります。
- 無償保証期間経過後の故障修理については、有料で修理いたします。
（部品交換修理が困難な場合や修理費用が多額となる場合は、機器交換などのご相談をする場合があります。）

3 点検と修理について

- ご不審の点がございましたら、工事店または最寄りの販売会社に点検・修理を依頼してください。

4 補修用部品の保有期間について

- 当社はこの電気給湯機の補修用部品を製造終了後8年保有しています。
補修用部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

5 修理を依頼されるときは

- 「故障かな？と思ったら」（P31）にしたがってお調べください。
修理を依頼される場合は、工事店（販売店）にご連絡ください。

保証期間中は

- 修理に際しましては、保証書をご提示してください。保証書の規定にしたがって工事店（販売店）が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

- 補修用部品の保有期間内は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容について

- ①品 名：中機 ヒートポンプ式電気給湯機
- ②形 式：前カバーの製造銘板に表示してあります。（CS-KHP405MTU等）
- ③お買い上げ日：年 月 日
- ④故障の内容：できるだけ具体的に（エラーが発生している、××からお湯が漏れている等）
- ⑤お名前・ご住所・お電話番号

■修理・その他お問い合わせは

据付工事店（販売店）または販売会社（別紙 アフターサービス連絡先一覧表を参照）にご連絡ください。

仕 様

タイプ		給湯専用タイプ		
システム	型 式	CS-KHP405M	CS-KHP505M	
	適用電力制度	季節別時間帯別電灯/時間帯別電灯対応通電制御型		
	種類(設置場所)	屋外型		
	定格電圧・周波数	単相200V 50/60Hz		
	沸き上げ温度	約65℃～90℃(運転モードによる)		
	安全装置	漏電遮断器、温度過昇防止器		
	時計機能	24時間表示、リチウム電池による停電補償、誤差±30秒/月		
	停電時給湯	給湯口から給湯可能(※7)		
	年間給湯効率(APF)	3.1	3.1	
	貯湯タンクユニット	型 式	CS-KHP405MTU	CS-KHP505MTU
タンク容量		400L	500L	
設置場所		屋外専用		
外形寸法(幅×奥行×高)		677mm×787mm×1846mm	677mm×787mm×2188mm	
質 量		86kg(満水時:486kg)	95kg(満水時:595kg)	
最大使用圧力		190kPa		
凍結防止ヒーター		約36W(ON:3℃, OFF:10℃)		
台所リモコン		K-02K型 キッチンタイマー付き		
ヒートポンプユニット		型 式	CS-HPU4510	CS-HPU6010
		設置場所	屋外専用	
	沸き上げ能力	4.5kW	6.0kW	
	中間期加熱能力(※2,※3)	4.5kW	6.0kW	
	中間期消費電力(※3)	1.025kW	1.365kW	
	中間期COP(※3)	4.4	4.4	
	夏期加熱能力/消費電力(※2,※4)	4.5kW/0.900kW	4.5kW/0.990kW	
	冬期加熱能力/消費電力(※2,※5)	4.5kW/1.160kW	6.0kW/1.620kW	
	冬期高温加熱能力(※1,※2,※6)	4.5kW	6.0kW	
	冬期高温消費電力(※1,※6)	1.500kW	2.000kW	
	外形寸法(幅×奥行×高)	820mm×300mm×650mm	820mm×300mm×650mm	
	質 量	52kg	54kg	
	運転音(※7)	中間期(※3)	38dB	40dB
		冬 期(※6)	43dB	45dB
	冷媒名(封入量)	CO ₂ (0.825kg)	CO ₂ (1.000kg)	
運転電流(※8)	6.10A	7.30A		
最大電流	14.7A	16.0A		
待機電力(※9)	7.5W	7.5W		

記1 年間給湯効率(APF)は、(財)日本冷凍空調工業会の規格であるJRA4050:2007R1に基づき、消費者の使用実態を考慮に入れた給湯効率を示すため、1年間を通して、一定条件のもとに運転した時の単位消費電力量あたりの給湯熱量を表したものです。

(年間給湯効率=1年で使用する給湯に係る熱量÷1年間で必要な消費電力量)

記2 中間期COPは、消費電力1kWあたりの加熱能力を現したものです。(中間期エネルギー消費効率=中間期加熱能力÷中間期消費電力)

※1 低外気温時は除霜の為、加熱能力が低下することがあります。

※2 沸き上げ終了直前では加熱能力が低下することがあります。

※3 作動条件:外気温(乾球温度/湿球温度℃)16℃/12℃、水温17℃、沸き上げ温度65℃

※4 作動条件:外気温(乾球温度/湿球温度℃)25℃/21℃、水温24℃、沸き上げ温度65℃

※5 作動条件:外気温(乾球温度/湿球温度℃)7℃/6℃、水温9℃、沸き上げ温度65℃

※6 作動条件:外気温(乾球温度/湿球温度℃)7℃/6℃、水温9℃、沸き上げ温度90℃

※7 JRA4050に準じ測定

※8 中間期条件下での測定

※9 凍結防止運転を除く

注意:低外気温時は除霜の為、夜間時間帯の間に貯湯容量全量を沸き上げできないことがあります。

製品形名<製造番号>	CS-KHP 形<	>	据付工事店(販売店)の店名・住所・電話番号
台所リモコン形名	F-02K		
お買い上げ日	年	月 日	

愛情点検



★長年ご使用の給湯機の点検を!

●この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

こんな症状はありませんか

- 接地場所が濡れている。
- お湯が早くなる。
- 時々漏電遮断器がはたらく。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源ブレーカー及び本体の漏電遮断器を切り、給水配管専用止水栓を閉じてから、据付工事店に点検・修理(有料)をご相談ください。



中国電機製造株式会社

本社 〒732-8564 広島市南区大州四丁目4番32号 フェージョンIP 050-5524-1355